

中国語の付加疑問文について

井上 優（麗澤大学）
masinoue@reitau-u.ac.jp

1. 問題

- (1) [英語の] 付加疑問文は、主文の主語を代名詞で繰り返し、主文とは逆の極性(肯定ないし否定)を有する助動詞を用いることで作られる。付加節中の助動詞に、上昇調ないし下降調の音調の核が置かれる。上昇調で発話される場合は、情報を求める機能があり、下降調で発話される場合は、聞き手の同意や確認を求める機能がある。（三原1997）
- (2) a. He likes his JÒB, DÓESn't he? (rising tone)
b. He likes his JÒB, DÒESn't he? (falling tone)
c. He doesn't like his JÒB, DÓES he? (rising tone)
d. He doesn't like his JÒB, DÒES he? (falling tone)
- (Quirk et al. 1985 (三原1997より引用))
- (3) a. And she wanted to find out something, did she?
(（相手の発言を受けて）彼女は何かを見つけたかったということですね。)
b. And she wanted to find out something, didn't she?
(彼女は、何かを見つけたかったのでしたね。) (稻木1990)
- (4) a. So you fell for that stuff, did you?
(（それはつまり）そのものに恋をしたというのか。（ばかばかしい。）)
b. So you fell for that stuff, didn't you?
(貴方はその人に恋をしたのでしたね。) (稻木1990)
- (5) Cp 付加疑問文 [=極性一致の付加疑問文] は Rp 付加疑問文 [=極性不一致の付加疑問文] とは異なり、その RC [=平叙文部分] はメタ言語であるということである。A型 RC の付加疑問文は、「あなたの今のことばを、私はこう(RC)受けとめたが、それでいいのですね。」を表わす。つまり明示化された先行発言を引用して、「RC ということですね。（それはどうですかね。）」を表わす。一方 B型では引用の元の言葉は先行発話の中に明示化されておらず、話し手が相手の発言、状況から推測して、相手の次の言葉は、「RC ということですか。（どうですかね。）」あるいは、相手の発言をも含んだこの場の状況を言い換えれば、「RC ということになるのですかね。（それはどうですかね。）」を伝える。A型にしろB型にしろこれらは全て、言葉遣いを問題にする文であることが分かる。(稻木 1990)

- 問題 1) 付加疑問文が表す「確認」とは（より具体的には）どのような意味か？
2) なぜ平叙文と逆の極性の疑問表現を付加すると「確認」の意味になるのか？
3) 極性が一致する場合と不一致の場合の機能の違いはどこから生ずるのか？

・中国語の付加疑問文

- 1) 平叙文 + “是， 对”（そのとおりだ・正しい）の疑問形
- 2) 平叙文 + “好， 行， 可以”（よい・可能だ）の疑問形

(6) “好吗”“行吗”“对吗”“可以吗”などを用いる諾否疑問文

話し手がまず自分の意見，推測，要求を言い，それに対する相手の意見を求める時にこの種の疑問文を用いる。

- ① 我们明天一起去长城，好吗？（僕達あす一緒に万里の長城に行こうよ，いいかい？）
- ② 你是日本人，对吗？（あなたは日本人でしょ？）
- ③ 借我词典用用，行(成)吗？（辞書をちょっと私に貸して，いい？）
- ④ 我们从东门进去，可以吗？（僕達東門から入ろう，いいかい？）

（劉・潘・故 1983（相原ほか訳 1988））

(7) a. 你是不是算错了？（計算を間違えているのではないか？）

b. 你看，你算错了，是不是？（ほら，計算を間違えている，そうだろう？）

(8) a. 你是日本人吗？（あなたは日本人ですか？）

b. 你是日本人，对吗？（あなたは日本人でしょ？）(= (6) ②)

(9) 今井：我胖了。我想运动运动。（私，太っちゃった。ちょっと体を動かしたいわ。）

尚美：中国菜太好吃了，是吗？（中華料理が美味しすぎて，でしょ？）

今井：可不是嘛！自从我来到中国以后，短短一个月就胖了三公斤呢。（その通り！中国に来てから，たった1ヶ月で3キロも太っちゃったわ！）

（略）

“是吗？”は自分の推論の正しさを確認するために用いる。「太った——なぜ？きっと中華料理が美味しすぎるんだ——そういうことだね？」という論理の展開である。

你喜欢打羽毛球，是吗？

你今天不想回家，是吗？

你不想谈这个，是吗？

你对中国历史很感兴趣，是吗？

（杉村・郭 2010 : 52-55）

(10) (1) 小李，今天下午的会不开了，是吗？（李さん，今日午後の会は取りやめになった，そうですか？）

(2) 你要回去，是吗？（あなたはお帰りになる，そうですか？）

(3) 小张和小王闹矛盾了，是吗？（張さんと王さんは意見が衝突した，そうですか？）

(4) 小芳唱的很好，是吗？（芳さんは歌を唱うのがとてもうまい，そうですか？）

(5) 你明天跟部队一起离开这里，是吗？（あなたは明日部隊と一緒にここを発つ，そうですか？）

このタイプの疑問文は、一般に発話者が平叙文の中で述べている情況について正しいかどうかを確かめてみたいのである。

（劉 1992 : 114, 下線追加）

- (11) a. 你不去上海了, 是吗? (あなたは上海に行くのを止めた, そうですか)
b. 你不去上海了, 是不是? 那么你把火车票给我吧。(あなたは上海へ行くのを止めた, そうですね? それ汽車の切符を私にくださいな。)

(劉 1992 : 117)

- (12) 例(6) A [= (11a)] では, 質問者は対話の相手が上海行きを中止したという情報を聞いたが, そのまますっかり信じることができず, 質問して確かめようとするのである。例(6) B [= (11b)] では, 質問者は相手が上海行きを中止したという事実をすでに知っていて, 質問の目的は単に相手にもう一度「そうだ」と言ってもらいたいのである。

(劉 1992 : 117)

- (13) (1) 咱们都得给她打气, 对不对? (私達は皆彼女を元気づけてやらなくては, そうでしょう?)
(2) 妈妈把你养大了的, 你跟妈妈一条心, 对不对? (母さんはあなたを育てあげたのだから, あなたは母さんと一つの気持, そうでしょう?)
(3) 这年月, 谁活着谁死都碰运气, 怎能不多算算命相面呢? 你说对不对?
(この時節, お互い生きているか死ぬかはすべて運次第, どうしてちよくちよく運命を占い, 人相を見てもらわずにいられようか, なあ, そうでしょう?)

上記の例文はいずれも“对不对”を“对吗”に改めることができる。

- (1) 咱们都得给她打气, 对吗? (私達は皆彼女を元気づけてやらなくては, そうでしょう?)
(2) 妈妈把你养大了的, 你跟妈妈一条心, 对吗? (母さんはあなたを育てあげたのだから, あなたは母さんと一つの気持, そうでしょう?)
(3) 这年月, 谁活着谁死都碰运气, 怎能不多算算命相面呢? 你说对吗? (この時節, お互い生きているか死ぬかはすべて運次第, どうしてちよくちよく運命を占い, 人相を見てもらわずにいられようか, なあ, そうでしょう?)

“对吗”と“对不对”的はたらきもやはり確認を得ることにあり, いま述べたことが誤っていないことを実証しようとする。たとえば例(1)では質問者が“咱们都得给她打气”(私達皆が彼女を元気づけてやらなくてはならない)という言葉が正しいのだということを実証したいのである。“对吗”, “对不对”を用いる目的は, 多くの場合, 質問者が自分の意見, ものの見方について相手から同意を得ようとするのである。それは例(1)(2)(3)のいずれからも読み取ることができる。例(3)はその傾向が最も顕著である。

“是不是”と“是吗”的場合と同様に, “对不对”は“对吗”より確認を得ようとするはたらきが強く, 問いただそうとするはたらきは弱い。

(劉 1992 : 118-119)

- 問題 4) 英語の付加疑問文と中国語の付加疑問文はどのような関係にあるのか?
5) 日本語では文末助詞「ね」「だろう」が付加疑問文的な機能を担うが, それはどういうことか?

2. 見通し

(14) 中国語の追加疑問文は、平叙文の後に“是，对，好，行” の疑問形 “是吗 / 对吗 / 好吗 / 行吗”，“是不是 / 对不对 / 好不好 / 行不行”を続ける。① “是，对”を用いた追加疑問文は、話し手の判断が正しいことの確認を求める文である。通常の疑問文は答えを知らない話し手が聞き手に情報提供を求めるが、追加疑問文は話し手が持っている答えを示して聞き手に確認を求める。“是吗 / 对吗”は同意が見込まれる判断をして聞き手に確認してもらう表現，“是不是 / 对不对”は話し手と同じ認識とは限らない聞き手に話し手の判断の正しさを確認するよう指示する表現である。例：你想学日语，是吗（对吗）？（あなたは日本語を勉強したい、ですよね：追加疑問文）／你想学日语吗？（日本語を勉強したいか：疑問文）。你看，你算错了，是不是（对不对）？（ほら、計算が間違っているでしょう：追加疑問文）／你是不是算错了？（計算が間違っているのではないか：疑問文）。② “好，行”を用いた追加疑問文は、妥当な動作であることの確認を求める文である。“行”を用いたほうが相手の判断にゆだねる気持ちが強い。“好吗 / 行吗”は話者の意向を相手に示して相談することを表す。例：明天我们去看电影，好吗？（明日映画を見に行かないか）。这样做，行吗？（こうするといふことでいいか）。“好不好 / 行不行”は相手に提案・希求することを表す。让她给我们跳个舞，好不好？（彼女に踊ってもらつはどうだろう（踊つてもらおう！））。这样做，行不行？（こうするといふことでどうか）。别整天玩儿游戏，好不好？（一日中ゲームで遊ばないでくれるか）。别吵了，行不行？（騒ぐのはやめてくれないか）。③ “吧”を用いた追加疑問文は、事実をあらためて確認するよう聞き手に求める。例：这里的菜特别好吃，是吧？（ね、(私が言ったとおり)この料理はおいしいでしょう）。你看，前面有一座大楼，对吧？（ほら、(目の前に見えるように)この先に大きなビルがあるでしょう）。

（井上執筆中原稿）

- ・見通し 1) 日本語の文末助詞の使用には「聞き手の認識のあり方」が深く関与する。
2) 中国語の文末助詞の使用には「話し手の認識のあり方」のみが関与する。付加疑問文は「聞き手の認識のあり方」が関与する表現としての役割を担う。

○注意喚起の「よ」と“啊”（井上・黄 2014 予定）

- (15) (前を歩いている人が財布を落としたのを見て、落としたことに気づかずに歩いていく人に後ろから声をかける)
- a. 財布が落ちました {よ↑／?φ} !
 - b. 你的钱包掉 {了／啦} ! (啦 la=了+啊)
- (16) (前を歩いている人が財布を落とした。財布を拾って、落とした人のそばまで行って)
- a. 財布が落ちました {よ↑／?φ}。
 - b. 你的钱包掉 {了／#啦}。
- (17) (料理の注文の際に)
- a. ここの餃子はとてもおいしいですよ↑。あなたも注文したら？
 - b. 这家餐厅的饺子特别好吃 {φ／#啊}，你也要点儿吧。

(18) 「この餃子っておいしいの？」と聞かれ、「もちろん！」という気持ちで)

- a. おいしいですよ↑。
- b. 好吃啊！

(19) a. 真热啊！（本当に暑いねえ！）

- b. 那么贵啊！（（え？／へえ）そんなに高いのか！）

・「よ」：聞き手の意識や注意を当該のことがらに向けさせる。

・“啊”：話し手の注意が当該のことがらに向いてい（ることを述べて、間接的に聞き手にことがらの重要性を認識させ）る。

・確認要求「だろう」と“吧”（井上・黄 2014 予定）

(20) a. 疲れただろう？

- b. 你累了吧？

(21) a. 今日の肉まん、なかなかおいしいでしょう？

- b. 今天的包子挺好吃的吧？

(22) a. ほら、この先に大きなビルがあるでしょう。あそこで曲がれば映画館です。

b. ??你看，前面有一座大楼吧？在那儿往左一拐就是电影院。

c. 你看，前面不是有一座大楼吗？在那儿往左一拐就是电影院。（ほら（よく見て），この先に大きなビルがあるじゃないですか？）

(23) 「あなたがやった」と言いはる相手に）

a. やってないって {言ってるでしょう／言ってるじゃないか}！。

b. ??我说了不是我干的吧！（私がやったんじゃないと言つただろう？）

c. 我不是说了不是我干的吗？（私がやったんじゃないって言ったじゃないか！）

・例(20)(21)：話し手の側で自身の認識の妥当性を確認したい。→ OKだろう／OK吧

・例(22)(23)：聞き手の側で話し手の認識の妥当性を確認せよ。→ OKだろう／??吧

(24) a. ほら、この先に大きなビルがあるでしょう。あそこで曲がれば映画館です。

b. 你看，前面有一座大楼，对吧？（ほら，あそこに赤い車がある，そうでしょう。）

・一般の疑問文と付加疑問文

(25) (=7) a. 你是不是算错了？（計算を間違えているのではないか？）

（→話し手にとって真偽不明。）

b. 你看，你算错了，是不是？（ほら，計算を間違えている，そうだろう？）

（→聞き手に真偽を確認させる。）

(26) (=8) a. 你是日本人吗？（あなたは日本人ですか？）（→話し手にとって真偽不明）

b. 你是日本人，对吗？（あなたは日本人でしょ？）（→聞き手に承認を求める）

(27) (=9) 今井：我胖了。我想运动运动。(私、太っちゃった。ちょっと体を動かしたいわ。)

尚美：中国菜太好吃了，是吗？((それはつまり)「中華料理が美味しすぎて」だ。

(そうだね？)

今井：可不^レ是嘛！自从我来到中国以后，短短一个月就胖了三公斤呢。(その通り！)

中国に来てから、たった1ヶ月で3キロも太っちゃったわ！)

引用文献

稻木昭子(1990)「極性一致の付加疑問文—談話の流れの中で—」『言語研究』97, 日本言語学会
井上優・黄麗華(2014 予定)「日中対照から見た中国語の文末助詞」

杉村博文・郭修靜(2010)『世界の言語シリーズ2 中国語』大阪大学出版会

三原京(1997)「付加疑問文の特性と共起関係について」『Osaka Literary Review』36

刘月华・潘文娛・故韓(1983)《实用现代汉语语法》外语教学与研究出版社 (相原茂監訳・片山
博美・守屋宏則・平井和之訳 1988『現代中国語文法総覧』くろしお出版)

Quirk, R. et al.(1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*, London: Longman